

坂総合病院 医学生だより

1 2026

vol.107

坂坂

ばんばん

<発行>
坂総合病院
医学生と共に歩む委員会
連絡先・塩釜市錦町16-5
☎022-367-9007
2026年1月1日
No. 107

総合診療・地域医療重点プログラム大特集！
注目のクロストーク企画！





指導医 菅野耀介 × 専攻医 加藤拓実 × 研修医 千葉晃希

総合診療・地域医療重点プログラム開設から4年。当プログラムで研修を重ねてきた専攻医・研修医と松島海岸診療所で家庭医療に取り組む指導医が、リアルな日々と総合診療の魅力について語り合いました。

★なぜ、総合診療の道を選んだのですか？

千葉 学生時代、坂総合病院を見学したときに科長の先生が「いろんな分野に手を出したくて総合診療を選んだ」とお話しされていたのがきっかけで、自分もひとつの診療科に縛られない道を進みたいと思いました。

加藤 僕は幼いときから医者になりたいと思っていました。当時自分が病気がちで、近くの病院がなくなったら困る、田舎で医者が足りない地域を助けたい、臨機応変に動ける総合診療に魅力を感じたからです。

菅野 二人とも素敵な理由だね。僕は「人を幸せにしたい」というのがベースで、その中で一番動きやすいのが総合診療だったんだ。

加藤 菅野先生、いろいろ手を出す人ですもんね。

菅野 言い方(笑)。今そこにいる患者さんや地域の人、職員、みんなが幸せになれるといいなって思ってるよ。

★学生時代のイメージと、実際にみてどうですか？

千葉 診断困難事例を考えるのがメインだと思っていましたが、実際は患者さんを医学的にだけではなく、社会的、心理的に理解していく必要があるというのを知り、もっと深いなど日々感じています。

加藤 患者さん本人だけではなく、家族、経済状況、社会制度まで、背景を全部埋めていくんですよ。

千葉 あと、手紙書くのがとても多くないですか？

加藤 多い。作文が苦手な身には大変です。

菅野 総合診療あるあるだね。

加藤 あとシステム面の整備も専門分野だと知ったことが意外でした。他の病棟だと整備されていなくて、それを改善していくのも僕らの仕事なんです。

千葉 それ、医者らしくないですよ。

加藤 そうなんです！そこがいい！「医者らしくないね」と言われるたびに、ニヤニヤしています(笑)

★やりがいと難しさを教えてください

加藤 「先生なのにこんなこと相談できて有難い」と患者さんに言われることです。医療知識がある、相談できる身近な人になれたときがとても嬉しいです。

千葉 僕は色んな職種と協力しサポートする中で、「みんなで頑張っている」感を感じられるのがやりがいです。

菅野 そうだね、患者さんから「ここに来るだけで元気になる」って言われることがやりがいかな。受診が楽しみって思ってもらえるのが理想だね。

千葉 難しいのは、併存疾患を持った高齢者が入院すると、入院中に病気が見つかったり食事が食べられなくなったりと、家族と話し合いたいけど進めていくのが大変です。

加藤 僕は総合診療の学問を学びながら、実践に活用していくのが難しいです。患者さんを前にしているときにそこまで意識するのは、まだまだです。

菅野 でもそれを言語化できてるのがすごいよ。やった後の振り返りから、やりながらの振り返りにレベルアップしていけるといいね。

★総合診療医に必要なスキルとは？

千葉 会話ですね。問診というよりも患者さんの気持ちや幸せを把握するための会話を重視しています。



加藤 僕はしっかりした医学知識を持

ち、身体診察や問診をちゃんとやって、臨床推論を行うことを重視しています。医者らしいところを意識的にやらないと疎かになりそうで、ヤブ医者にならないようにと思っています。

菅野 二人ともいいこと言うね。僕が付

け加えるなら、「諦めないこと」かな。

千葉・加藤 諦めないことですか？

菅野 うん。患者さんとのコミュニケーションが難しいとき、患者さんのせいにしたら終わりなんだよね。システムの問

題かもしれない、置かれた状況かもしれない、診察室の気温かもしれない。本当にいろいろな要因を考える。「これはもうどうしようもない」って諦めずに、解決できなくても関わり続けることが大事だと思ってるよ。

★学生のうちにやっておけばよかったと思うことはありますか？

千葉 プライマリ・ケア学会や夏期セミナーなどの、学生向けのイベントに参加しておけばよかったと思います。

加藤 僕は大学外のコミュニティに参加してればよかったです。患者さん、みんな野球の話をするんですが、全然興味がなくて困っています。

菅野 僕も同じこと思うな。学生るとき、ビリヤードとダーツやってて、大会とか

出てただけ。

加藤 え、そうなんですか！？

菅野 うん。社会人が多い場所だったから、いろんな年代、いろんな仕事の人と会えた。初期研修のとき患者さんに「どういう仕事してるんですか？」って聞いても、わからないことだらけだね。

千葉 医学部生、常識がない側に行きがちですよ。

菅野 そうそう。狭い世界で生きてるからね。興味ない話も聞く、それが大事だよ。

★将来はどんな総合診療医を目指していますか？

千葉 患者さんも家族も診られる、本当のファミリークリニックを目指したいです。おじいちゃんからお孫さんまで、家族みんなが気軽に相談できる場所。これからいろんなところで働いて、理想像を高めていきたいです。

加藤 僕は、患者さん、家族、地域住民、職場の人たち、自分と家族：みんなをトータルで幸せにできるバランスを見つ

けたいです。

菅野 いいね。バランスって大事だよ。

加藤 そうなんです。患者さんのためだけに頑張るすぎて自分が倒れてしまったら意味がないですし、逆に自分だけ楽を

していても患者さんに申し訳ない。全体を見ながらマネジメントしていけたらと



思っています。

菅野 二人が言ったことに加えて、僕は職種や各専門医とも仲良く楽しく働けるのが理想かな。坂総合病院は各科の敷居が低くて、すごく相談しやすい雰囲気なんだよね。

千葉 確かに。困ったときにすぐ相談できるのは助かります。

菅野 そういう関係性を大事にしながら、患者さんにとって最良の医療を提供していきたいね。

★医学生のあなたへ

千葉 総合診療は、診断困難事例だけではなく、地域医療や患者さんの感情面、社会面も見えていく面白さがあります。いろんな病気、背景に出会って、後悔しないと思います。ぜひ一度、見学に来て、実際の雰囲気を感じてほしいです。

加藤 学生のときは大学にいますので、専門性の高い科の方が目立ちますよね。でも地域に出ると、幅広く活躍できる医者も求められています。自分のやりたいことに合った診療科を見つめるには大きい病院だけではなく、診療所もいろいろ見てみることをお勧めします。価値観が変わるかもしれません。

菅野 総合診療はいろんな形があります。短絡的に考えずに、視野を広げて見てほしいです。この分野は魅力もやがりがいもあって、社会的にも求められています。

総合診療・地域医療重点プログラムとは？

総合診療・家庭医の育成をメインに置いた初期研修プログラム。総合診療専門医＋新家庭医療専門医を4年間で取得可能な連動プログラムをもち、地域に根ざした総合診療医を目指す環境です。

見学随時受付中！お気軽にお問い合わせください。

※クロストーク全編については、現在動画作成中！YOUTUBEにて公開予定です！



先生方ありがとうございました！

YouTubeはこちら



公益財団法人坂総厚生協会
坂総合病院
SAKA GENERAL HOSPITAL

古川学園医療講演会を 行いました！



古川学園の医療職を目指す中学生・高校生を対象に医療講演会を開催しました！
毎年実施している講演会ですが、講師は例年通りの医師、看護師に加え、学園からのご要望により今回は診療放射線技師も登壇しました。
3つの職種による幅広いお話をしていただき、充実した講演会となりました。

初期研修2年目の渡部元太先生からは、医師を志したきっかけや、高校・大学時代のエピソード、入職してからの学びなど詳しくお話いただきました！

「もし今受験生に戻ったら…」のテーマでは学習面だけでなく、生活リズムや心理面を崩さないことの大切さにも触れ、中学生・高校生にエールを送りました！



▲初期研修医、看護師(助産師)、診療放射線技師の3職種が講演をしました。



生徒の皆さんからは「実際に働く方の講演を聞いて将来のイメージが付き、モチベーションが高まりました！」「医学部に進学してからの方が勉強が大変だと改めて認識できました」といった感想が寄せられました。
真剣に講演に耳を傾ける生徒の皆さんの姿が印象的でした！



星陵アンサンブル



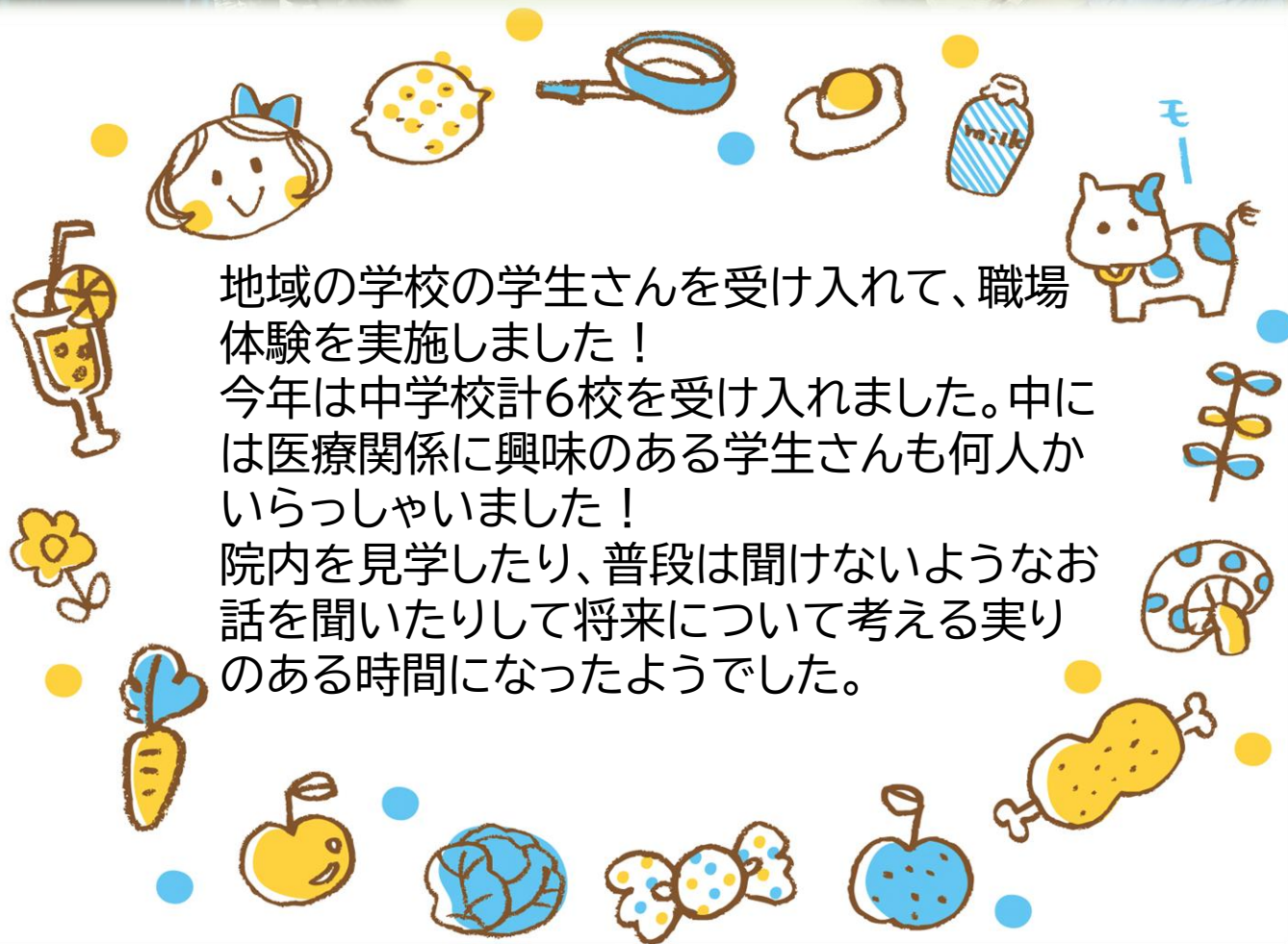
去る10月、秋晴れのもと北部診療所にて「第2回 健康まつり」が行われました😊
昨年に続き、今年も東北大学 星陵アンサンブルの皆さまに素敵な演奏を披露して
いただきました。フィナーレでは、アンサンブルの演奏に職員もコーラスとして加
わり、「花は咲く」「明日があるさ」を合唱💎
会場は笑顔と拍手で一体感に包まれ、大盛り上がりのひとときとなりました♪



職場体験が行われました！



◀ 院内見学の様子 ▶
詳しい説明を聞きながら院内をめぐりました！



地域の学校の学生さんを受け入れて、職場体験を実施しました！

今年は中学校計6校を受け入れました。中には医療関係に興味のある学生さんも何人かいらっしゃいました！

院内を見学したり、普段は聞けないようなお話を聞いたりして将来について考える実りのある時間になったようでした。



◀ 職場体験の様子 ▶
先生方と雑談を交えながら楽しく交流しました！

「医学部受験生のための模擬面接」を開催しました！

2025年10月17日（金）と11月21日（金）の2日間、TKP仙台西ロビジネスセンターにて「医学部受験生のための模擬面接」を開催し、医学部受験を控えている高校3年生・予備校生の受験生が5名参加しました。今回は、北海道大学、弘前大学、岩手医科大学、山形大学、千葉大学を志望する受験生が参加し、それぞれの志望大学の傾向に沿って模擬面接を行いました。

参加した方からは「初対面の人との面接練習は初めてだったので緊張しましたが、良かったところを褒められてアドバイスもしてもらえ、入試に向けてとても良い経験となりました」「準備や対策をしていなかった質問もされて答えられませんでした、今後に向けた対策の参考になりました」「本番さながらの緊張感をもって面接をすることが出来ました」など感想が寄せられ、今回の模擬面接を通して様々なことを学ぶことができた様子でした。

終了後は、今年の夏の東北大早期医療体験で繋がった東北大1年生の医学生4名も交えて懇談を行いました。入試のアドバイスやこの時期の過ごし方、心構え、医学部に入ってから生活、将来どんな医師になりたいかなどのお話をし、受験生の皆さんと和やかに懇談をしました。

お忙しい中ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今後も受験生、高校生向けの企画を通して、より多くの皆さんの役にたつように頑張りたいと思います。

医学生担当 小野寺 知洋さん



▷医療講演で
お話しする
富山院長



友の会より「第42回 健康まつり」を開催しました！ 地域に根差した活動の一環です！

10月5日に、坂病院・みやぎ東部健康福祉友の会の共催で「第42回 健康まつり」が開催されました。コロナ禍を経て6年ぶりの開催でしたので、あまり地域の方々にご参加いただけないのでは…との心配もありましたが、約400名の方々にご参加いただきました。当日は、医療や介護の講演会、健康チェックコーナー、病院活動の展示コーナー、こども薬剤師体験、友の会サークル発表、模擬店、フリーマーケット、大抽選会等が催されました。参加者の方々からは、大変好評なご感想や、病院に対する感謝のお言葉も届けられております。

今後もWHO傘下の健康増進活動拠点病院として、地域の健康づくりに貢献していければと思います。

フリーマーケットの様子▷

▽健康体操サークルの発表



地域健康課 咲間 優さん



学生向け！挑戦してみよう

医療クイズ

10名の方に500円のクオカードをプレゼント！
回答は矢印先のQRからお願いします！

第一問

I 型糖尿病の特徴として正しいものはどれか？

- ①肥満が主な危険因子である
- ②自己免疫機序が関与する
- ③発症は高齢者に多い



第二問

人体で酸素を運ぶ役割を持つものはどれか？

- ①アドレナリン
- ②アルブミン
- ③インスリン
- ④ヘモグロビン



公式SNSのご案内

宮城民医連
宮城県民主医療機関連合会

医療情報や企画案内・病院紹介を配信中！

ご登録お願いいたします！

X(旧ツイッター)



@netbanban

Instagram



@sakageneralhp

Facebook



@miyagiminiren

公式LINE



@174imjmv

YouTube



坂総合病院医学生担当

★お問合せ・お申込み先★

宮城県民主医療機関連合会 医学生担当まで

〒985-0835 宮城県多賀城市下馬1-10-6 宮城民医連事業協同組合3階

TEL022-352-3277 FAX022-352-3328

Mailgakusei@miyagi-min.com

病院HPIは
こちらです！⇒



次回の坂坂の発行は2026年5月の予定です。